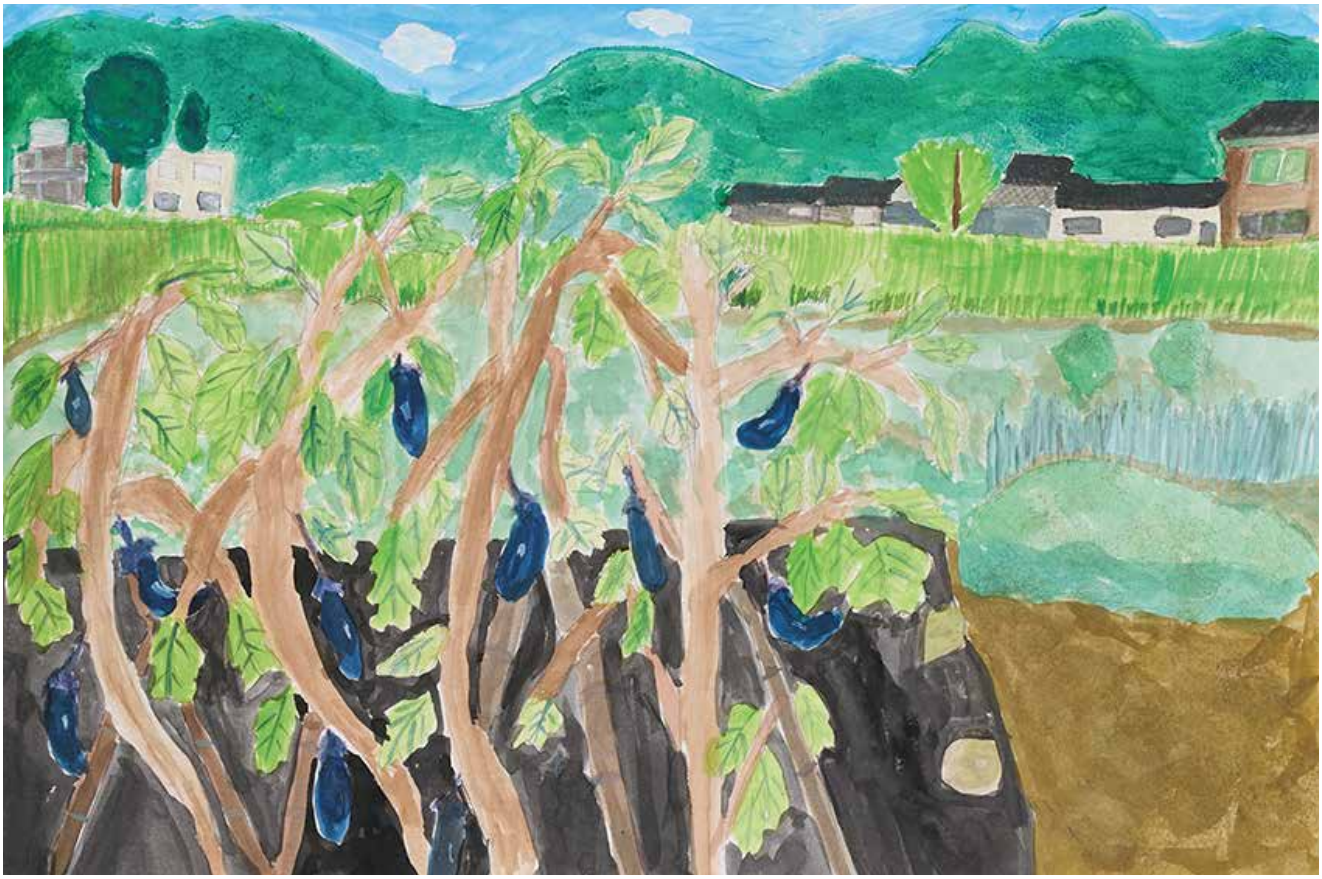
第129号　令和5年1月

129 2023 山口県 土地改良だより

発行：山口県土地改良事業団体連合会　会長 北村経夫　　山口市糸米二丁目13番35号　TEL 083(933)0033
FAX 083(933)0048



「未来へつなごう! ふるさとの水土里 子ども絵画展2022」　水土里ネット山口会長賞
山口市立宮野小学校2年　**則近茉帆**　**作品名：なすびさんこんにちは！**

～目 次～

✧ 新年挨拶 …… 1
✧ 国への要望活動 …… 8
✧ 県への要望活動 …… 9
✧ トピック …… 10
✧ 研修会 …… 12
✧ 行事から …… 14
✧ 男女共同参画意見交換会、子ども絵画展2022年入賞作品の紹介 …… 15
✧ マンガでみる土地改良 …… 16
✧ 県からのお知らせ …… 17
✧ 男女共同参画について …… 18

迎春

農業農村整備事業の推進につきましては
平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
本年もより一層のご指導、ご支援、ご協力を
賜りますようお願い申し上げます。
令和5年　元旦

会　長　北村経夫
副会長　守田宗治
副会長　吉本知則
外役職員一同

■ 会員数

＊会員の資格＊
本会の会員たる資格を有する者は、山口県内において土地改良事業を行うものとされています。（定款第８条）

会員総数	
市町	１９
土地改良区	９４
農業協同組合	１
計	１１４

（令和5年1月1日現在）

新年のご挨拶

参議院議員
山口県土地改良事業団体連合会
会長 北村 経夫

新年明けましておめでとうございます。

令和5年卯年の新春を、会員をはじめ関係皆様方とともに迎えることができましたこと大変喜ばしく思います。また、平素より本会の運営ならびに農業農村整備事業の推進に対しまして、格別のご高配を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症に加え、ロシアによるウクライナ侵攻の影響を諸所に感じる年でありました。世界情勢の不透明感は10か月を経てなお一層強くなり、食料や燃料の価格高騰は私たちの日常生活に多大な影響を及ぼしています。同時に、土地改良区の運営にも影響があり、山口県において、土地改良区が所有又は管理する農業水利施設に対し、電気料金高騰分を補助する緊急支援事業がいち早く決定されたことは特筆すべきことです。この対策のためにご尽力いただきました関係皆様方に改めて感謝申し上げたいと思います。

このような中で迎えた新年にあたり、私たち連合会職員にできることとは何かを改めて考えています。昨年設立した「山口県土地改良区職員連絡協議会」を力強く支援していくこともその一つでしょう。土地改良区職員の連携強化等を通じ、土地改良区の健全な運営と農業農村の発展に資することを目的とし、60名を超える土地改良区職員の方が会員となり発足しました。土地改良法改正を契機として、複式簿記への移行や国の掲げる男女共同参画の目標達成など土地改良区職員の役割は年々増しています。また、その達成すべき内容の重要度も増しており、変革の時期を迎えていると皆様も感じていらっしゃるのではないでしょうか。この変革期を皆で協力し合い、農業農村が今後ますます成長していく礎を築けていければ良いと考えています。その活動を連合会職員一丸となって支援してまいります。

また、男女共同参画に関しては、国は令和7年度までに土地改良区の女性理事の割合を10%以上とするという目標を明示しています。将来の農業農村の発展のためには着実に達成していかなければなりません。目標達成には、皆様お一人お一人の深い理解と土地改良区内での気運醸成が必要不可欠です。ご理解とご協力を改めてお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大には依然充分な警戒が必要ですが、本年は、国が示したWithコロナを柱に社会経済活動との両立をさらに図っていく年になることと思います。令和5年度土地改良関係当初予算では、関係皆様方の精力的な活動により4,457億円、令和4年度補正予算を含めると6,134億円を計上することができました。この予算を活かすためにも、関係皆様方とより一層絆を深めながら連合会職員、職務に邁進してまいりたいと存じますので、今後ともご支援ご高配を賜りますようお願い申しあげます。

結びに、今年一年の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

年頭あいさつ

山口県知事 村岡嗣政

【はじめに】

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、本年が県民の皆様にとりまして、より良い年となりますことを心からお祈り申し上げます。

コロナとの闘いは、3年の時を経て、その様相を変えつつあり、長い間停滞を余儀なくされていた社会経済活動は、正常化に向かって進んでいます。

この間、県民の皆様には、県内における感染拡大防止等の取組に格別の御理解と御協力を賜っておりますことに、心より感謝申し上げます。

政府は、昨年末、国民の暮らしや雇用・事業を「守る」とともに、社会課題を成長のエンジンへと転換して持続的な成長を実現させ、経済を「強く」していくための施策を盛り込んだ新年度の予算案をとりまとめ、我が国が置かれた難局を乗り越えていこうとしています。

県においても、中小企業の皆様の事業継続等の支援や、子どもたちの安心・安全の確保、防災・減災対策など、直面する課題に対応するための補正予算を編成し、所要の措置を講じたところです。

また、県では、昨年末、今後の県政運営の指針となる新たな総合計画「やまぐち未来維新プラン」を策定しました。

このプランでは、「安心・安全」、「デジタル」、「グリーン」、「ヒューマン」の4つの視点を踏まえ、これまで挑戦してきた産業維新・大交流維新・生活維新の「3つの維新」をさらに進化させ、「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現を目指すこととしており、このプランに沿った県づくりの取組の具現化に向け、確かな道筋をつけていけるよう、現在、来年度予算の編成に取り組んでいます。

今年は、長引くコロナ禍を乗り越え、県民の皆様と共に、新たな未来を切り拓いていく、そのスタートの年にしていきたいと考えています。

【感染症への対応】

多くの方の命と健康を脅かし、社会経済活動にも大きな影響を与えた新型コロナウイルスは、未だ収束の兆しが見えず、昨年末からは、第8波の感染拡大が続いています。

こうした中、医療従事者の皆様には、昼夜を分かたず献身的に対応していただいており、県民・事業者の皆様にも、感染防止対策やワクチン接種等に御理解、御協力をいただいています。改めて深く感謝申し上げます。

昨年初めに流行したオミクロン株から派生し、現在の感染の主流となっているオミクロン株の亜種については、弱毒化が進んでおり、重症化リスクが大幅に低下していると言われています。しかしながら、特に、高齢者や基礎疾患をお持ちの方々などにとって危険な病原体であることには変わりがなく、引き続き、感染拡大を防止していかなければなりません。

このため、県では、季節性インフルエンザとの同時流行も見据え、休日夜間を含めた診療体制や、受診・相談センターの相談体制、自宅で療養される方の相談・診療体制を強化するとともに、感染・重症化

リスクを下げるワクチン接種の促進に取り組んでいるところです。

私は、コロナの危機から、県民の皆様の命と健康を守り抜くため、引き続き、全力で取り組んでまいりますので、御理解、御協力をよろしくお願いします。

【地域経済の再生】

そして、コロナ禍で大きく落ち込み、加えて、急激な物価・エネルギー価格の高騰や、半導体不足など供給面の制約、世界的な金融引き締めに伴う海外景気の下振れなどに追い打ちをかけられている地域経済を力強く再生し、山口県の元気を取り戻していかなければなりません。

このため、県では、物価高騰対策として、エネルギー価格の急激な高騰により、厳しい経営環境が続いている医療機関や社会福祉施設に支援を行うとともに、輸入粗飼料価格の高騰により大きな影響を受けている酪農家への支援、さらには、中小企業が取り組む賃上げや製品等の価格転嫁の円滑化に必要な資金需要への対応など、所要の措置を講じているところです。

また、今後は、国の取組とも歩調を合わせながら、インバウンドを含む観光など、コロナ禍からの回復が遅れている分野の需要拡大に努めるとともに、新たな成長分野に力を入れていきたいと考えています。

経済情勢は刻々と変化しており、その時々の状況に応じて、スピーディかつ的確に対応していく必要があります。県内経済を確実な回復軌道に乗せていけるよう、今後とも、経済情勢等を見極めながら、必要な対策を講じてまいります。

【新たな未来に向けた県づくり】

3年にわたって続くコロナ禍は、人々の意識や価値観を大きく変え、働き方やライフスタイルに至るまで、様々な変化をもたらしました。その結果、これまで続いてきた東京一極集中の流れが変わり、都市部にはない、地方の豊かな暮らしが、多くの若い世代を惹きつけ、新たな人の流れが生まれてきています。

また、デジタル化や脱炭素化により、社会の仕組みや産業構造にまでわたる大きな変革の時代を迎えており、これらにもしっかり対応していく必要があります。

県では、これらの変化をチャンスと捉え、県民の皆様と共に、「やまぐち未来維新プラン」に沿って、本県の新たな未来に向けた県づくりの取組を進めてまいります。

折しも、国では、デジタルの力を活用して地域課題の解決や魅力向上の取組の加速化を図るため、昨年末、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が策定され、また、今年4月には、こども政策の司令塔となる「こども家庭庁」の設置が予定されています。

県では、こうした国の動きにも呼応しながら、「やまぐち未来維新プラン」に掲げるプロジェクトを着実に推進することにより、まずは、コロナから県民の命と健康を守り抜き、地域経済と暮らしを再生させること、そして、県政を取り巻く様々な環境変化や社会変革への対応や、県政の最重要課題である人口減少対策などに、積極果敢に取り組んでまいります。

【終わりに】

私は、このたび策定した「やまぐち未来維新プラン」に基づき、県民誰もが、山口ならではの豊かさと幸福を感じながら、未来に希望を持って暮らせる「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現に全力で取り組んでまいります。

引き続き、県民の皆様の御理解と御協力を、よろしくお願いします。

新年に当たって

全国土地改良事業団体連合会
会長 二階俊博

令和5年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、様々な感染対策を講じた上で、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立を図るウイズコロナの方針が示されました。皆様におかれましては、「新しい生活様式」を日常生活に取り入れ、引き続き、感染拡大防止に十分ご留意いただきますようお願いいたします。

また、昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻の影響もあり、一部の国では穀物の輸出規制が実施されるなど、食料流通の機能不全や食料価格の高騰など食料安全保障をめぐる負の影響が国際社会に生じました。

国内では、農業者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、燃料価格の上昇に伴う農事用電力料金の急激な高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような国内外の情勢にかかわらず、食料安全保障の観点から、日本の食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

岸田内閣は、こうした状況を踏まえて「食料・農業・農村基本法」の見直しに着手しました。この検討の動きを注視しつつ、我々土地改良関係者は、農業・農村の喫緊の課題に積極的に取り組んでいく必要があります。

令和5年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,457億円を確保することができました。この結果、令和4年度の補正予算を含めると6,134億円となります。

また、令和4年度補正予算において燃料価格の上昇に伴う土地改良区の電気代高騰分の7割を支援する仕組みが導入されました。

御尽力をいただいた当局をはじめ関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第5次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、我々土地改良団体における喫緊の重要課題となっています。

将来の組織体制の強化・発展のためにも女性参画を進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、私は本会の会長に就任以来「闘う土地改良」を掲げ、組織一体となって闘ってまいりました。昨年の参議院選挙においては、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員が見事に当選を果たされました。

宮崎雅夫参議院議員と共に「車の両輪」となって、全国を駆け回り、皆さんの声を聞き、土地改良予算の確保だけでなく、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声が国会に届くよう、2人の活動の支援をお願いいたします。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げまして、私の新年の御挨拶といたします。

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 進藤金日子

新年、明けましておめでとうございます。山口県土地改良事業団体連合会の皆様には、旧年中、大変お世話になりました。お陰様で先般の参議院議員選挙で再選を果たすことができました。二期目においても、引き続き現場主義、地域主義に徹して政策実現に努めてまいる覚悟です。本年も何卒宜しくお願い致します。

懸案の土地改良予算については、昨年12月に成立した令和4年度補正予算で1,677億円（TPP等対策：760億円、国土強靭化5か年加速化対策：817億円、食料安全保障対策：100億円）が措置され、また、令和5年度当初予算政府原案は昨年度より4億円増加の4,457億円で、補正予算と合わせて6,134億円となりました。これらには農業水利施設の電気料金高騰対策も盛り込まれ、本年度と同様に地域の要望に応えられる所要の予算が確保できたものと考えています。

さて、昨年を振り返えると、新型コロナウイルス感染症が続く中、2月のロシアのウクライナへの侵略により、エネルギー価格の上昇、穀物価格や飼料価格の上昇、肥料価格の高騰、円安の急激な進行による物価の上昇等があり、これらは国民生活に大きな影響を与えています。政府は、エネルギー価格や電気料金、肥料価格等の高騰対策を講じてきたところですが、これらを含め物価高は本年も続くと思われます。引き続き、物価動向を注視しながら必要な対策を講じることが重要であり、私も各種対策の実現に貢献してまいる覚悟です。

昨年7月の再選後、全国各地で講演等を行ってまいりました。そこで感じたのは、経済安全保障と食料安全保障に対する国民の意識の高まりです。昨年後半の円安の進行も踏まえ、各種生産拠点の国内回帰をはじめ国内での強靭なサプライチェーン再構築の緊急性を改めて認識しております。

また、昨年6月の参議院決算委員会で、私は政治信条である「食料安全保障」について岸田総理に対し質問しました。総理からは「食料の安定供給の確保は国家の国民に対する最も基本的な責務の一つ。新しい資本主義のビジョンの下、食料安全保障を強化するべく政府一体となって取り組んでいきたい」との答弁を頂きました。

私は、「食料供給力」（国内生産力、輸入力、備蓄）の中で弱体化している国内生産体制の強化が喫緊の課題で、まさに「食料自給力」の強化が不可欠であると訴えています。その最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、自給力の強化を図るには、農地と水の持つ機能を高める土地改良を中長期的な展望を持って推進していくことが重要です。このため、今後も予算を安定的に確保するとともに、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、目に見える成果を出していく必要があります。

本年も土地改良推進に対する貴連合会の皆様のご協力をお願い致しますとともに、皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げ、新年のご挨拶にさせていただきます。

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 宮 崎 雅 夫

新年明けましておめでとうございます。山口県土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係の皆様へ謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より地域の水と土を守り、農業の発展や農山村の活性化に向け、農業農村整備事業の円滑な推進ならびに土地改良施設等の適切な管理や土地改良区の適正な運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、昨年8月まで農林水産大臣政務官を勤めさせていただき、その間、皆様方から多くのご要望等をお受けしましたが、それぞれの課題解決等に向け、一所懸命に対応させていただきました。これらご要請の事項を含め、昨年12月に成立した令和4年度第2次補正予算では、農林水産関係で総額8，206億円、うち、農業農村整備事業関係については、1，677億円が措置され、この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金高騰対策として、増嵩分の7割を支援する新たな制度も含まれています。また、令和5年度当初予算の概算決定額として、前年を上回る4，457億円が閣議決定され、合計額6，134億円となる見込みとなりました。これから行われる国会での議論において、しっかりと確保できるよう一所懸命に努めてまいります。

さらに、昨今の国際情勢や長引くコロナ禍により、農業農村にも多くの影響が及んでいますが、そうした中で、我が国食料の安定供給を図る食料安全保障の確立に向けた取り組みが求められています。国内の食料生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向にも対応するスマート農業を含めた土地改良の促進や農業農村関係人口の拡大の取り組みなどを含め、しっかりと推進していくことが重要です。

私も、卯年の今年は年男を迎えますので、「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでにも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりお伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいる決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、山口県土地改良事業団体連合会ならびに関係機関の益々のご発展と、皆様方のご健勝を心より祈念申しあげ私の新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶

山口県農林水産部
審議監 長嶺 栄治

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

旧年中は、本県農業・農村の振興に格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年の干支は、卯年で、向上・成長・飛躍など、景気が上向きに跳ねる、回復するなど、株式の関係者にとっては、縁起の良い年として知られているようです。

うさぎが跳ねるように、皆様にとって飛躍の一年となりますように、心からお祈り申し上げます。

さて、昨年の流行語大賞は「村神様」、特別賞は「青春って、すごく密なので」、ノミネートの中には「令和の怪物（ロッテ佐々木投手）」など、野球に関する言葉が多くありました。

夏の甲子園で準優勝した下関国際高校も山口県に元気を与えてくれました。

流行語へのノミネートにはありませんでしたが、食料安全保障の重要性が改めて注目された年でした。

気候変動、新型コロナ禍による物流の停滞、ロシアのウクライナ侵攻などをきっかけとして、食品や日用品などの値上げが相次ぎ、食料安全保障を強化しようとの議論が強まりました。

我が国の食料安全保障は、国内農業生産の増大を基本として、これに輸入と備蓄とを適切に組み合わせることが基本理念となっています。

平時から、国内・県内の生産・供給基盤を維持・強化し、自給力を高めることが、さらに求められます。

県内の生産・供給基盤を守るためには、担い手となる若い就農者を増やすとともに、経営規模の拡大や生産性向上を後押しするスマート農業技術の活用などの支援が大切です。

流行語に登場した鍛え抜かれた日本の若者達は、世界を相手に戦える力を持っています。

将来の担い手の方が魅力ある農業を展開し、活躍できるよう、農地整備にしっかりと取組んでまいります。

また、田植えを前にした、愛知県の明治用水頭首工で大規模な漏水事故が発生しました。明治用水は、教科書にも載っていた有名な農業水利施設です。

明治用水土地改良区の資料によると、明治13年に通水が開始され、約5,400ヘクタールの農地を潤す他、工業用水、上水道の取水を行う頭首工となっています。

普段、意識することが少なくても、ひとたびインフラが機能しなくなると、生活や生産活動に大きな影響がおよび、水の大切さを改めて思い知る事態でした。

農業水利施設やため池など、水は血液、ポンプなどの施設は心臓との思いをもち、予防保全・長寿命化を推進してまいります。

そして、農村環境の未来を考える研修会が3年振りに開催されました。

多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金に取り組んでいる活動組織や集落協定の関係者など、約750名のご参加をいただきました。

昨年から、スマホアプリを活用した「活動日誌作成ツール」の運用を開始していますので、是非ご活用ください。

保全活動中のケガや事故に注意し、保険への加入もお願いします。

農業・農村の多面的機能の発揮に関する様々な取組みを共に展開し、美しい農村を次の世代に継承していきましょう。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

国に令和5年度予算編成に向けた要望書を提出

11月7日(月)から8日(火)にかけて、山口県農業農村整備事業推進協議会と連名で令和5年度予算編成に向け、当初予算の確保要請を政府関係者、農林水産省及び財務省に行いました。

次の事項について格段の配慮をお願いしました。

【格段の配慮を願う事項】

◎計画的な事業実施のため、地域の要望に十分応えることのできる農業農村整備事業当初予算の確保

◎防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策の十分な予算確保

◎ため池の保全対策に必要な予算の確保と事業制度の拡充

令和4年11月

山口県土地改良事業団体連合会
会長 北村 経夫

山口県農業農村整備事業推進協議会
会長 北村 経夫

土地改良施設の電気代高騰への早急な対策へのお礼とともに、令和5年度予算については当初予算の十分な確保と防災・減災、国土強靭化5か年加速化対策が大詰めとなってきていることから、次期対策への期待を強く訴えました。

勝俣孝明農林水産副大臣に要望

萩生田光一自民党政務調査会長に要望

安部伸治農村振興局次長に要望

河口健児財務省主計官に要望

村岡県知事に令和5年度予算編成に向けた要望書を提出

令和4年11月18日（金）県庁知事室において、村岡知事に対して令和5年度県予算・施策について、要望を行いました。

守田副会長、藏重専務理事、阿武参事による熱のこもった要望活動を行いました。

要望書

要旨

新型コロナウイルスの流行や、ロシアのウクライナ侵攻など、不安定な世界情勢が続くなか、山口県では、次の5か年の総合計画『やまぐち未来維新プラン』のアウトラインが示されたところです。

本会もこのプランの取組に最大限の支援を行うこととしており、とりわけ、農業用ため池の保全管理を的確にサポートしていくため、「ため池サポートセンターやまぐち」を本会に設置し、管理者を対象に、維持管理や補修等に関する相談対応など技術的な支援を行っています。

このたび、国は、令和5年度農業農村整備事業当初予算の概算要求において、対前年度比118.4%増の5,273億円を計上しており、我々も地域の要望に応えられるよう必要な予算を安定的に確保していかなければならないと強く望んでいるところです。

つきましては、令和5年度の予算編成にあたり、計画的な事業実施のため、地域の要望に十分応えられる令和5年度農業農村整備事業当初予算の確保に特段の配慮をお願いいたします。

【特に要望のある個別事項】

1　担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化、スマート農業等を推進するため、農地の大区画化、地下水位制御システムを含めた水田高機能化対策の推進（継続）

2　老朽化した農業水利施設の保全整備や防災減災対策の推進。特に危険ため池の整備促進（継続）

3　農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、日本型直接支払制度（多面的機能支払）の推進（継続）

4　国営緊急農地再編整備事業南周防地区の着実な推進（継続）

トピック

土地改良区および土地改良区職員間の連携強化等のための協議会を立ち上げました

ホテルニュータナカ（山口市）

土地改良区の運営状況の改善に向け、土地改良区の運営事務に関する情報共有および効率化、土地改良区職員間の連携強化等を通じ、土地改良区の健全な運営と農業農村の発展を目的とした協議会を立ち上げ、12月12日(月)に山口市内で設立総会を開催しました。

土地改良法改正にかかる対応や組合員の後継者問題など様々な課題を解決する一助となる協議会を目指します。

議事は下記のとおりで、いずれも原案のとおり承認されました。

第1号議案　山口県土地改良区職員連絡協議会規約の承認について
第2号議案　山口県土地改良区職員連絡協議会役員の選任について
第3号議案　山口県土地改良区職員連絡協議会収支予算の承認について

第2号議案の承認により役員に選任された方々。
写真右から松尾孝治会長、和田惠美副会長、河村清監事。後方は総会の議長をお務めいただいた河島正氏。

また、熊本県土地改良区事務局連絡協議会の立ちあげメンバーである竹中宏豊氏をお迎えして研修を行いました。平成19年に先駆けて設立されており、熊本県における設立経緯や運営方法、研修内容など参考になるお話を沢山聞く事ができました。

さらに、午後にも『熊本地震からの災害復旧について』と題してお話いただきました。日頃から農業者に限らず地域全体での繋がりを強固とすることの大切さや圃場整備（土地改良事業）の大切さを改めて感じる研修内容でした。

竹中宏豊氏
（秋津飯野土地改良区事務局長）

農業農村整備の集いに1,100名を超える土地改良関係者が参集しました

農業農村整備の集い【10月20日(木)】

シェーンバッハ・サボー
(東京都千代田区平河町)

全国土地改良事業団体連合会主催の農業農村整備の集いが東京で開催されました。

『水土里ネットが有する技術、経験など持てる能力を最大限に発揮するため、その体制強化を図っていく必要がある。』と要請書でうたい、全国の水土里ネットが一致団結し闘っていくことを確認しました。

『食料自給力の維持・向上を通じて食料安全保障に寄与する土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、令和4年度補正予算及び令和5年度当初予算において、必要な予算を安定的に確保すること』等、9項目の実現を図るため、国への要請文を採択し、知念沖縄土連副会長の発声によるガンバロウ三唱でしめくくりました。

3年ぶりに土地改良大会が対面で開催されました

第44回全国土地改良大会　沖縄大会【11月22日(火)】

沖縄アリーナ(沖縄県沖縄市)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で昨年度は初のオンラインにより群馬県で開催されましたが、本年度は3年ぶりに対面で、米国統治下から日本に復帰して50年となる沖縄県で開催されました。『水土里の拓くみるく世を鳴らしとぅゆまし守禮の邦から』のスローガンの下に2,300名余が全国から参集しました。

土地改良事業功績者表彰が行われ、山口県からは長信正治前田布施土地改良区理事長が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受彰されました。

大会旗が沖縄土連から全土連、そして次期大会開催県である福井県土連へ引き継がれました。

空手団体「形」演武

おめでとうございます！

土地改良事業功労者表彰
全国土地改良事業団体連合会長表彰を受彰された長信正治氏

引き継がれる大会旗

沖縄土連から全土連へ

全土連から福井県土連へ

研修会

山口大学農学部NN研修会【9月13日(火)】

山口大学農学部の2年生と3年生を対象とした特別講義の一環で当会の事業内容を取り上げてもらいました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン研修となりましたが、本年度は、秋穂土地改良区ご協力のもと、座学のみならず、ため池・ポンプ施設・集排汚水処理施設の見学など、体験を交えた研修会を実施することができました。

秋穂土地改良区での座学

集排汚水処理施設の見学

ため池の見学

令和4年度換地委員等実務研修会【10月12日(水)、13日(木)】

山口県換地センター(当会内設置)主催で毎年実施している研修会です。それぞれの地区において換地事務がスムーズに進行することを目的に、換地事務に携わる方々を対象として、各分野の専門家を招いて研修を行っています。

本年も30名を超える方々にご参加いただきました。

山口県セミナーパーク　研修室

月日	時間	科目	講師
10月12日(水)	9:30～11:00	・事業開始に向けての注意点について ・換地委員の任務について	山口県農林水産部 農村整備課 改良区指導班　主査　豊原義雄
	11:00～12:00	・農地中間管理事業について	やまぐち農林振興公社　農地中間管理事業部 アドバイザー　沖敏雄
	13:00～16:00	・換地理論 ・交換分合の概要	中国四国農政局　農村振興部 土地改良管理課 農地集団化係長　溝口祐子
10月13日(木)	10:00～12:00	・相続について	山口地方法務局 不動産登記部門 登記官　尾中さやか
	13:00～16:00	・土地の調査について ・換地設計基準 ・土地評価と清算 ・換地原案について	山口県土地改良事業団体連合会　事業部 用地換地課　課長補佐　松尾　徹 用地換地課　技師　三浦彩羽

令和4年度市町担当課・土地改良区役職員研修会【11月4日(金)】

中国四国農政局、全土連や県から講師を招き、開催しました。午前は全土連から、午後は中国四国農政局から、男女共同参画の推進に関する研修が時間をかけて行われました。研修前と研修後のアンケートも実施され、分かりやすい内容であったとの感想が多く見受けられました。男女共同参画推進については、国が「土地改良区の理事の10%以上を女性にする」と数値目標を掲げています。目標達成に向けて、集中的に取り組んでいく時期にきていると感じました。

時間	研修内容	講師等
10:05～12:00	男女共同参画の推進について ・土地改良団体における男女共同参画の意義、基本事項 ・手引きの使い方	全国土地改良事業団体連合会 管理指導センター所長　勝又徹
13:00～14:00	男女共同参画に向けた手続き等について 土地改良区の運営等について	中国四国農政局　農村振興部 土地改良管理課　課長補佐　田中禎史
14:10～14:40	土地改良財産の維持管理について	山口県農林水産部　農村整備課 計画調整班　主幹　藤井昌英
14:40～15:10	人権に関する取組の考え方	山口県環境生活部　人権対策室 調整監　岡村光徳
15:20～16:00	ため池サポートセンターの活動報告	山口県土地改良事業団体連合会 ため池サポートセンター 専門監　廣本淳史

山口県総合保健会館第1研修室

令和4年度複式簿記導入促進特別研修【11月30日(水)】

全国土地改良事業団体連合会主催の会計研修を、全土連支援部の田中克哉主幹と金内琴美主査を講師に、山口県総合保健会館にて開催しました。

60名を超える参加者のもと、本年度から運用が義務付けられている複式簿記について、理解を深める研修が行われました。

研修内容
- 財務諸表等の作成手続き(基礎編)
- 財務諸表等を活用した財務分析の方法
- 財務諸表等の作成手続き(実践編)
- 単式簿記方式を継続して貸借対照表を作成する方法

金内琴美主査

田中克哉主幹

行事から

都道府県土連等事務責任者会議【9月14日(水)】オンライン開催

全土連の会員(47都道府県土連および25土地改良区)の事務責任者を対象に「令和5年度農業農村整備事業予算(概算要求)」について、オンライン形式で会議が開催されました。

内定式【9月30日(金)】

令和5年4月1日採用予定の方を対象に内定式を実施しました。

藏重専務理事から社会人としての心得について話があった後、1人1人が自己紹介を行い、午後からは現地研修を行いました。

コロナ禍でもそれぞれの大学生活を楽しむ様子が伝わる自己紹介でした。一緒に仕事をする日を楽しみにしています。

ほ場整備について当会職員から説明を受ける様子

都道府県土連ブロック代表事務責任者会議【10月21日(金)】

令和4年度は本県が中国四国ブロック当番県であるため、ブロック代表事務責任者会議に出席しました。議題は「令和5年度全土連賦課金について」でした。

山口県農業農村整備事業推進協議会　令和4年度会議【議決日:11月2日(水)】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年度の会議は書面開催としました。

議事は下記のとおりで、いずれも原案のとおり承認されました。

第1号議案　令和3年度事業報告及び収支決算の承認について

第2号議案　令和4年度事業計画及び収支予算の承認について

土地改良施設の整備補修事例検討会【11月17日(木)、18日(金)】白兎会館(鳥取県鳥取市)

広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県から事例提案があり、質疑がなされる形で検討会が行われました。翌日は現地検討会として、北条用水および北条砂丘土地改良区を見学しました。

中国四国土地改良事業団体連合会事務部会【12月8日(木)】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度オンライン開催した事務部会が、今年度は岡山県岡山市にて対面で開催されました。

優先事項、組織・運営全般、人事・労務、給与・財務全般など項目に分けて情報交換を行いました。

中国四国土地改良事業団体連合会技術部会【12月16日(金)】オンライン開催

中国四国9県の土地改良事業団体連合会による技術部会がオンライン形式で開催されました。

検討事項・情報交換

・ため池整備等について

・BIM/CIM、ICT技術の活用について

・農業集落排水施設　維持管理適正化計画について

・土地改良法の改正について

中国四国農政局主催で男女共同参画の推進に向けた意見交換会を実施しました

12月12日(月)の山口県土地改良区職員連絡協議会の設立総会に引き続き、ワークショップ形式で男女共同参画推進に向けた意見交換会が実施されました。

ファシリテータを務める中国四国農政局 諸岡参事官のもと、8人ずつの5グループに分かれてテーマ毎に活発な意見交換が行われました。

〔テーマ1〕土地改良区において、女性がどのように活躍できるでしょうか。

〔テーマ2〕女性が土地改良区で活躍するために、土地改良区が何をすべきでしょうか。
土地改良区の環境をどう整備すべきでしょうか。

男性12名、女性24名の方にご参加いただきました。バランスよく男女がグループ分けされ、意見交換のしやすい雰囲気がありました。グループ内での話し合いの後は、発表時間が設けられ、5グループ全ての意見を聞くことができました。

女性・男性ともに意識を変えていくことの必要性、土地改良区自体の認知度を上げていくことの必要性、雇用形態や給与の改善の必要性、ほか多くの意見がでました。

今後、土地改良区内でより活発に話し合いがなされるためのきっかけになる意見交換会であったと思います。

12月12日(月) ホテルニュータナカ(山口市)

「未来へつなごう! ふるさとの水土里 子ども絵画展2022」入賞作品の紹介

おめでとうございます！！
KAJIMA100年のみどり賞

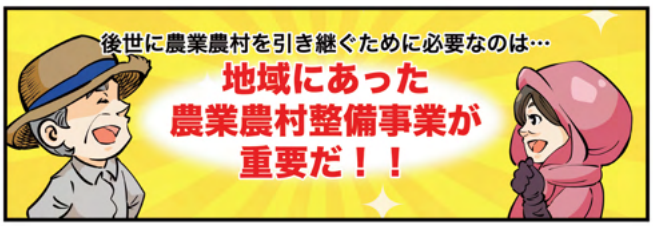
作品名:**おいしいお米をありがとう**
学校名:**山口市立宮野小学校**
学年・氏名:**4年・清水星汰**

2000年から始まった子ども絵画展。本年は全国から約3,000点の応募がありました。山口県からは２点入賞し、12月4日から12月11日まで東京都美術館に展示されました。

※水土里ネット山口会長賞は表紙

マンガでみる土地改良

2018年から要望内容をマンガ化しており、山口県の特徴として広く認知されています。
2022年は、食料安全保障についてマンガ化しました。
漫画イラストは、山口県周南市の中山間地域に拠点をおく、漫画工房樹本村塾の皆さんの制作によります。



漫画工房 樹本村塾

農村整備課だより

誰もが活躍できる土地改良区に向けて！
～男女共同参画の推進～

改良区指導班

国が定めた「第５次男女共同参画基本計画」において、土地改良区等の理事に占める女性の割合に関して成果目標が定められました。

農業の発展、農村への人材の呼び込みには、女性が働きやすく暮らしやすいことが重要で、そのためには、農業農村に関する様々な方針策定に女性が参画する必要があり、土地改良区も例外ではありません。

土地改良区にとっても、新たな視点・感性をもった理事の登用により、組織の活性化に繋がるものと考えられます。

組合員に女性がいない、少ないという場合でも、定款に定めることで、員外女性理事の登用も可能です。

まずは、女性理事の登用について、理事会や総（代）会で話し合ってみませんか。

第５次男女共同参画基本計画
成果目標（目標年度　2025年度）

項目	目標
女性理事が登用されていない組織数	0
理事に占める女性の割合	10%

女性理事登用で期待される効果例

- 優秀な人材の確保
- 組織の維持・活性化
- 女性の視点・感性を活かした取組の展開 等

スマホアプリで災害・点検報告！

整備班

県では、農地・農業用施設の点検や維持管理、豪雨時等の災害情報、また、農業農村の風景などをスマートフォンで撮影し、住民避難や防災対策、農業農村の振興に役立てる「報告アプリ」を運用しています。

多面的機能支払や中山間地域等直接支払の「活動日誌」を作成することもできます。

アプリの積極的な活用をお願いします。

詳しくは『山口県 農村整備課』ホームページをご覧ください。

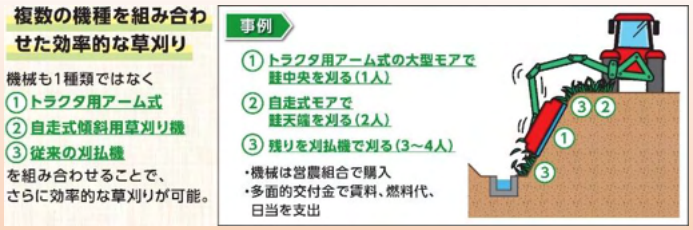
傾斜用草刈り機の導入で法面管理を省力化！

計画調整班

傾斜用草刈り機を利用すれば、従来の刈払機に比べ約２～７倍の作業能力があり、作業時間を大幅に短縮できます。

また、安全性が高く、作業者への負担も軽減されます。

これら傾斜用草刈り機は、多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金を活用して、リースや購入することも可能です。



①トラクタ用アーム式

②自走式傾斜用草刈り機

③従来の刈払機

土地改良区における女性理事登用の推進について

女性理事登用

2025年度までに女性理事が占める割合を10%以上に！

現在 0.6%

農業・農村の振興を支えてきた土地改良を、次世代につなげることが我々の役目です。現代社会を生き抜くために、土地改良を担う組織にはいろいろな人材の参画が必要です。土地改良の新たな発展へ、共に進んでいきましょう。

成果目標

全国の土地改良区（土地改良区連合を含む）において、2025年度までに女性理事が登用されていない組織数をゼロに。理事に占める女性の割合を10%以上に。

計画：第5次男女共同参画基本計画（2020.12）、土地改良長期計画（2021.3）

組合員だけでなく、員外理事でもOK

組合員からの登用が難しい場合、員外理事制度も活用できます（定款に定めれば理事定数の5分の2まで可能）。組合員のご家族、会計士、6次産業や町内会に携わっている方、他にも農業団体で役員を務めている方などの参画が期待できるのではないでしょうか。

女性職員登用

働く場を、再点検

これを機に、土地改良事業団体連合会も含め、改めて働く環境を見つめませんか？無意識の思い込み（お茶入れや電話取り次ぎは女性、外業は男性など）はありませんか？育児・介護制度の整備、技術や資格取得のフォローなど、できるところから改善を。誰もが活躍できる、そして人と地域に優しい土地改良へ。

全国水土里ネット・都道府県水土里ネット

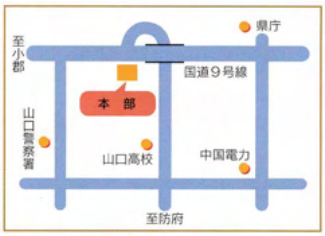
国は全国の土地改良区において2025年度までに女性理事が登用されていない組織数をゼロに。また理事に占める女性の割合を10%以上にする目標を掲げています。

組合員からの登用が難しい場合は、定款で定めれば員外理事での登用もできます。（理事定数の5分の2まで可能）

水土里ネット山口
山口県 土地改良 事業団体連合会

本部　〒753-0079　山口市糸米二丁目13番35号
TEL　083-933-0033（代表）
FAX　083-933-0048
HP　http://www.yamadoren.or.jp

本部



◇“水土里ネット山口”は、山口県土地改良事業団体連合会の愛称です。◇